

教科	科目	単位数	学年	集団
理数	理数数学 I 演習	2	3	総合探究科（選択）

使用教科書	副教材等
新編数学 I（数研出版）・新編数学A（数研出版）	3 T R I A L 数学 I + A（数研出版） 白チャート数学 I + A（数研出版） 別途、授業で指示する。

科目の目標
1 年次に理数数学 I で学んだ幅広い知識の内容の問題演習を行う。その中で、数学における基本的な概念や原理・法則などを理解する。さらに、それらを積極的に活用し数学的活動の中で正しい判断をし、適切に処理・表現することができる。具体的には、大学入試共通テストに出題される程度の問題を、適切に考え方解答することができる。

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	・数学における基本的な概念や原理・原則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。
② 思考・判断・表現	・数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く考え方数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
評価方法	
① 小テスト、定期テスト、課題テスト、ノートや課題・レポート等の記述内容の点検 ② 小テスト、定期テスト、課題テスト、ノートや課題・レポート等の記述内容の確認 ③ 小テスト、①②における評価に基づき総合的に評価する。	

学習計画						
月	項目	単元	単元や題材などの内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
1 学期	数学 I	数と式 集合と命題 2 次関数 図形と計量 データの分析	数学 I A II の内容の教科書レベル + $\alpha$ の問題を多く解くことにより、標準的難易度の問題を解くことのできる学力を身につける。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		場合の数と確率 図形の性質				
		数学 II 指数関数と対数関数				
2 学期	数学 I	数と式 集合と命題 2 次関数 図形と計量 データの分析	数学 I A II の内容の基礎的な受験レベルの問題を多く解くことにより、上級学校の一般選抜に対応できる学力を身につける。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		場合の数と確率 図形の性質				
		数学 II 指数関数と対数関数				

3 学 期	数学 I	数と式 集合と命題 2 次関数 図形と計量 データの分析	数学 IA II の内容の共通テストレベルの問題を多く解くことにより、大学の一般選抜における受験問題に対応できる学力を身につける。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	数学 A	場合の数と確率 図形の性質				
	数学 II	指数関数と対数関数				